

Cr-Zry SWGの進め方(案)について

日本原子力研究開発機構

2025年10月28日

検討の基本方針

■ ATFプラットフォームの実施内容に沿った実効的な検討を行うために、SWGを設置する

【ATFプラットフォームの実施内容】

- ・ 国内で開発が進むATFを対象とし、照射試験データ等、安全性評価に利用可能な技術的な情報等に関する共有・議論
- ・ 研究協力・技術協力の可能性の検討
- ・ 議論結果のまとめ、結果公開に関する検討
- ・ 関連研究者・技術者の人材育成に関する検討

他

■ SWGにリード役、事務局を設置

リード役：大阪大学・牟田教授、事務局：三菱重工、JAEA

■ 次代を担う中堅・若手の研究者や技術者の参加を奨励

体制 (Cr-Zry SWGに係るアンケート結果)

Cr-Zry SWG

リード役：牟田先生
事務局：佐藤（MHI）、
加治（JAEA）

第一希望：29人

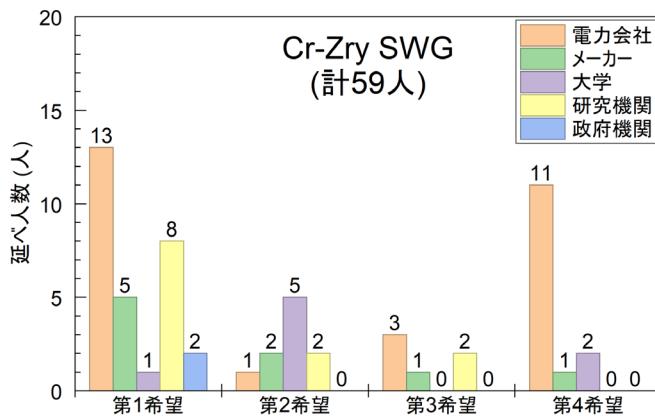
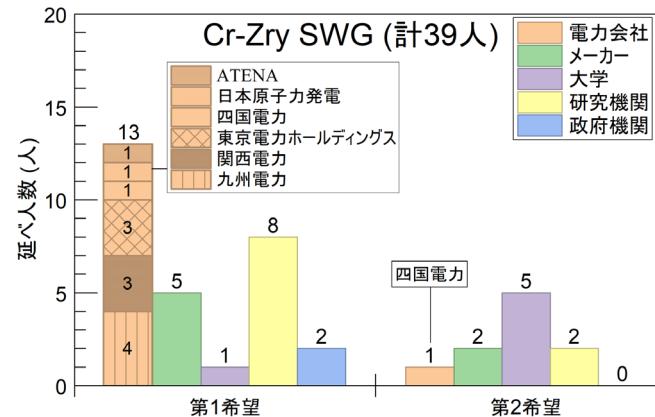
第二希望：10人

第三希望：6人

第四希望：14人

第一・二希望に関する組織別傾向：

電力会社(14)／メーカー(7)／大学(6)／研究機関(10)／政府機関(2)



Cr-Zry SWGに関するコメント

- ①コーティング装置も製造販売しており、弊社の装置でできることがあれば知りたい（メーカー関係者）
- ②BWRコーティング材についても検討範囲に含めていただきたい（電力関係者）
- ③この材料についてはかなり進められていると聞いている。製品化直前になって、何を議論していくかは立場的に整理が必要だと思う（大学関係者）
- ④研究機関、大学、メーカーの垣根をなくし、基礎から実用まであらゆる知見の交流する場としての機能を期待する（JAEA(事務局外)）

SWGにおける議論の進め方

- ✓ 参加者の知識レベルをそろえ、共通理解を得るために、第1回はPIRTの概要や進め方の説明のみとし、議論は第2回以降に進める。



第2回までの対応のお願い

PIRT表（配布）

- ・評価項目を細分化
- ・項目番号を付記

意見募集フォーム（WEB）

URL: <https://forms.office.com/r/XABZq3B6cE?origin=lprLink>

第2回以降の進め方

- ✓ 回数：必要に応じ柔軟に対応
- ✓ 時期：集中的に議論できるよう配慮
- ✓ 集約した意見の状況を踏まえ、各回で深堀する切り口（テーマ）を選定



第2回以降における議論のルール

- 投稿者が意見を読み上げ
- 全員が発言
- リード役（牟田先生）が指名

本SWGでは、燃料分野以外の立場からの視点についても積極的に取り入れるため、第1回終了後に意見募集を行い、多様な着眼点を次回以降の議論に反映する。

実施工程案と各回の議題案

※開催月はめやす

	第1回 2025年10月	第2回 2026年2月	第3回 2026年5月	第4回 2027年2月
1	Cr-Zry SWGの進め方 (JAEA)	—	—	—
2	Cr-Zryの開発経緯と PIRT全体概要(MHI)	—	—	—
3	意見募集(JAEA)	意見集約結果(JAEA)	—	—
4	開発状況の報告（1） (MHI)	開発状況の報告（2） (MHI)	開発状況の報告（3） (MHI)	—
5	—	国内外の最新知見の共 有（1）(JAEA他)	国内外の最新知見の共 有（2）(JAEA他)	—
6	—	PIRT及び技術課題に 係る議論（1）(*1)	PIRT及び技術課題に 係る議論（2）(*1)	—
7	—	—	—	報告書骨子案の議論 (JAEA・MHI) (*2)
8	—	—	—	次年度以降の進め方に ついて議論(JAEA)

(*1)第1回終了後、PIRTや技術課題他に係る意見を検討いただき、第2回・第3回で集中的に議論予定

(*2)第4回会合終了後、報告書(議事録も含む)を取りまとめ、2027年内に公開予定

スケジュール案

- 2年間かけてPIRTをベースにTRLに照らし、技術課題の抽出等を実施
 - 第1回SWGでPIRT全体概要を説明。その後意見募集を実施(12月初旬締切)。第2回(2/25を予定)、第3回SWG(5月中旬～末を予定)で集約した意見を中心にPIRTに関する議論を実施。第4回SWGでとりまとめの議論を実施。
 - 第2回と第3回は短期間で集中的に議論する予定。必要に応じて開催回数の変更も検討。